



ふくふく住まい通信

発行責任者
㈱福地建装
北斗市中野通 324
ハウジング事業部
Tel 0138-73-5558

平成最後の新年を謹んでお慶びを申し上げます。

◇ 昨年は過去最高「ファースの家」が ◇

ファース・グループ工務店は、北海道北端から本州南端まで約190社のFAS加盟工務店さまで構成しております。

平成元年にファース工法が構築され、平成5年よりフランチャイズ方式で全国各地に「ファースの家」が建築されて参りました。

「ファースの家」も年々進化し続けており数年前からは、天井裏にエアコンを設置して、温熱や冷熱を壁の中の通気層を循環させ、壁面、床面、天井面から輻射熱で冷暖房を行い、極めてクオリティの高い冷暖房空間を構築できる仕組みとなっております。

サポートエアコン1台と2台設置が基本ですが、北海道のような厳寒地でも130㎡くらいの「ファースの家」なら1台のエアコンで容量的に間に合います。

見える場所にエアコンがなく、玄関を入れれば何処へ行っても快適な室温にキープされる不思議な快適空間を構築できるようになっています。

これらの機能が評価され、また省エネ機運が高まる社会背景を追い風に「ファースの家」は、益々その存在感が高まりつつあります。

昨年、過去最高の「ファースの家」着工数がありました。この勢いは益々強まりつつあります。

私達ファース本部は、さらに新時代に見合った新技術の研究開発を行い、いっそう、お施主様に評価される家づくりを遂行して行く所存です。

昨年7月より株式会社福地建装の新社長は、専務だった福地智が代表取締役社長に就任しましたが、変わらぬご支援をお願い申し上げます。

◇ 次世代の家づくりを追求する ◇

昨年7月開催の第19回ファース全国大会in函館でファース本部の代表取締役社長交代があり、専務の福地智が新社長となり、当方は代表取締役会長に就任いたしました。

ファース本部は常に業界最先端の技術革新を行い、住宅業界を牽引する役割を担って参りました。当方は、会長となっても引き続き、ファース工法の技術的なバージョンアップと新技術の研究の直接指揮をとっていきます。

新社長と役割分担を行い、次世代機能を次々と搭載させたファース工法の開発に加え、FAS加盟工務店さま施工の簡易性や受注のし易さ等と従来と切り口

の異なるファース工法の在り方も模索して参ります。

ともあれ FAS 加盟工務店さまを通しお施主様のご提案などが大きな糧となることから、いっそうのご指導を賜ります。

◇ 結露と快適性 ◇

「ファースの家」は、調質効能を保持するため、床下にシリカゲルを処方した専用部材（ファースシリカ）に、約200リッターもの水を溜め込む機能を持たせております。

冬季間の日本列島各地は、何処の地域もカラカラの乾燥状態となっています。気温20℃、湿度30%では、絶対湿度（実際の水分量）が4.3gです。

快適湿度と云われる気温20℃、湿度50%では絶対湿度7.3gとなりますが、「ファースの家」は、これを平均6gに保持するようセッティングしております。空気が乾燥状態になっていると、静電気が発生してハウスダストが舞い飛び、ウィルス菌が発生し易くなります。

また、乾燥状態では、人のカラダから水蒸気が蒸発し易くなるため、体温を奪うことから寒さを感じ易くなります。

湿度（湿気）は、潜熱という熱でもあり、一定以上の潤いを保有しておくことが快適に過ごすための前提ともなります。

それには、「ファースの家」のようにシームレス状で家全体を包み込み、外部湿度に影響されない気密層を構築しておくことが必須となります。

気温20℃、湿度50%の絶対湿度7.3g時の露点温度（結露が生じる温度）が、9.3℃なので、それ以下の部位には結露が生じます。

ちなみに気温20℃で湿度30%になると露点温度が1.9℃まで下がるため、結露は殆ど生じなくなります。

保湿効能の泣き所は、窓の下部などの低温分に薄い結露を起こす場合があります。薄い結露は健康空間のバロメーターとも言えそうです。

ファース本部代表取締役会長 福地脩悦

幸太の知恵袋

調味料トレーの代わりに古い電話帳

調味料を入れているトレイは、ガスコンロの近くなんかで使うことが多いから、あっという間に油でべたべたになってしまうねえ。

これをこまめに洗うのは大変だよねえ。

そこでね、調味トレイとして古い電話帳を使うといいんだよ。

汚れたら、次々とページを破いていけばいいからね。楽でいいよねえ。